

令和5年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

○令和5年度表彰校・取組実績一覧

整理番号	学 校 名	表彰部門	取組実績
1	白石市立小原小中学校（小学校第1学年～中学校第3学年）	ふれあい・自然保護	地域の方々との協働活動として、天然記念物「材木岩」がある公園内の清掃、植栽の活動、杉林の枝打ち作業など自然環境の整備と保全を通して、自然の尊さについて学んでいる。 地域の水田・山林・水源地探索、水生生物の生態や樹木のはたらき、水資源の利用など、生態系や自然環境と自分たちの生活との関わりなどについて3年間を通じた系統的な総合学習が行われていていこうとする意識を高めることにつながった。
2	松島町立松島第五小学校（3・5学年）	自然の恵み・ふれあい	JA や森林組合、地域の方の協力を得ながら、実際に山を訪れて林業に関する学習や体験活動をとおして松島町の森林や自然の特徴等について知り、振り返りとして学習したことを個人新聞にまとめることで、森林の役割や重要性等を学ぶことで、地元の自然の豊かさや林業への興味・関心を高めるとともに、自分たちの役割についても理解を深める機会となった。 また、地元の野菜の栽培、収穫をとおして地域との触れ合い、地産地消についても学習することができた。
3	大崎市立下伊場野小学校（全学年）	自然の恵み・ふれあい・自然保護	開校以来、地元農家の協力の下、学習田での米作り体験・生物観察を行っており、鳴瀬川河川敷の清掃活動、サケの稚魚飼育、鳴瀬川への放流、草花や昆虫の観察等をとおして、地域の環境問題や自然保護と環境保全の在り方についての意識が高まり、自然の豊かさや生命の尊さ、環境美化や保全の大切さについて実感を伴い理解することができた。 また、PTA や地域の方と共に自然と触れ合う活動を実践することによって、高学年では地域における自分たちの役割について意識するようになるなど、発達段階に応じた自然環境保全に対する意識が高まっている。

4	東松島市立赤井小学校 （4学年）	自然保護・ ふれあい	東京農業大学の協力により自然調査活動を行い、昆虫や鳥、植物、野生動物の水場等の観察、センサーカメラの画像の確認等をおして身近なところに多様な生き物が生息していることを学んだ。市の担当課と連携し、海洋プラスチックごみ削減の学習、海苔漉き・カキ剥き体験と「いきもの調査隊」を関係付けて学習することで、山と海とのつながりに気付き、生物多様性や自然環境の保全への意識が高まるとともに、その環境を守っていくために自分たちができることは何か考え、行動に移していこうとする意識が高まった。
5	気仙沼市立月立小学校 （全学年）	自然の恵み・ ふれあい・ 自然保護	地域の専門家を講師に学習を行っている。「山の活用と発展」をテーマに、見学や講話、体験学習を通して、地域の豊かな自然環境を守るために、山の手入れや間伐材の活用等、多くの人の支えがあることを知り、繭細工やそば栽培の活動等を通して、地域の自然や伝統を伝え続けていく大切さを実感するとともに、自分にできることをしようという強い思いを高めることができた。これらの学習をすることで、地域の自然や伝統・文化をよりよく学ぶことができ、地域理解、生物多様性の保全に対する意識を強くもつことができた。